

# とちお

編集と発行 新潟県栃尾市役所  
電話 (02585) 2-2151

とちお第一四八号 昭和四十四年四月十日発行  
毎月十日一回発行(定価一部四円)  
昭和三十三年二月二十日第三種郵便物認可



## 消防署庁舎完成

昨年10月から改築工事が進められていた市消防署庁舎が、さる3月20日完成し、3月22日完工式が行なわれました。こんど完成した庁舎は、鉄筋3階建て、延べ608.75平方メートルで、総工費は1千972万5

千円です。1階は車庫のほか仮眠室・受信室があり、2階は事務室、3階は会議室です。なお、これまで消防署は公民館で執務を行なっていましたが4月1日から新庁舎に移りました。

# 44,4

No.148

おもな内容	
市議会の結果.....	2,3
米、養蚕多収穫入賞者.....	6
市職員人事異動.....	3
カメラロボ.....	7
44年度予算のあらまし.....	4,5
なわしろ準備.....	8
犬の取締り強化.....	6
公民館のページ.....	9
狂犬病予防注射.....	6
連休時のごみ収集.....	10

## お知らせ

### 連休時の ゴミ収集日を変更

四月二十九日から五月五日まで休日が続くため、四月二十九日から五月七日までのゴミ、危険物の収集日を次のとおり変更いたしますのでご協力ください。  
なお、四月三十日(水)、五月三日(土)、五月七日(水)の危険物収集は、休ませていただきます。

### 連休時のゴミ収集予定

4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日
(火曜日)	(水曜日)	(木曜日)	(金曜日)	(土曜日)	(日曜日)	(月曜日)	(火曜日)	(水曜日)
休	休	休	休	休	休	休	休	休
み	み	み	み	み	み	み	み	み
のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集	のゴミ収集

### 農業委員選挙の 有権者数さまる

農業委員会選挙人名簿が、三月三十一日確定しました。この名簿は、ことしの一月一日現在で農家のみなさんからの申請により農業委員会および選挙管理委員会で、資格を調査して調整したものです。投票区別の名簿登録者数は別表のとおりです。  
なお、ことし七月中旬に予定されている、市農業委員の任期満了による選挙には、今回確定した名簿を使用します。

### 投票区別名簿登録者

投票区	投票所名	男	女	計
1	栃尾公	379	393	772
2	小貫公	111	126	237
3	土ヶ谷分	56	68	124
4	榎出小	439	466	905
5	熊袋教	198	196	394
6	人面農協	251	248	499
7	川谷小	182	199	381
8	梅野侯区	119	117	236
9	上塩小	267	287	554
10	塩川小	254	259	513
11	東谷小2	422	408	830
12	東谷小1	432	355	787
13	白山保	217	203	420
14	荷頃小	343	399	742
15	一之具小	250	258	508
16	軽井沢分	93	83	176
17	比礼小	80	89	169
18	本津川公	38	42	80
19	入東谷公	242	247	489
20	吹谷公	110	107	217
21	栗山沢小	107	103	210
22	西谷公	149	143	292
23	田之口公	74	68	142
24	森上小	81	81	162
25	中野侯小	199	211	410
26	新山公	108	108	216
27	繁窪公	104	107	211
28	半蔵金中	211	213	424
29	田代分	40	40	80
30	葎谷公	92	101	193
31	山葵谷集	71	78	149
	計	5,719	5,803	11,522

### 二十四日に ゆうあい号が採血

交通事故や手術などに輸血する血液が不足しているため、次により採血車「ゆうあい号」が採血を行います。  
健康なときに献血して他人を助け、自分が病気のときは、みなさんの献血で助けていただくため、ぜひ献血にご協力ください。  
日時 四月二十四日午前九時三十分から午後三時まで  
場所 市役所前

### 労災保険の 更新手続を

労災保険の年度更新の日が近づきましたので、各事業主は次の手続きをしてください。  
▽保険料報告書の提出は、五月十五日までです。

### 行政相談日

▽とき 四月二十四日  
午前十時から  
午後三時まで  
▽ところ 市役所市民相談室  
なんでも気軽に相談ください

### 今月の市税

▷固定資産税  
▷軽自動車税  
納期 4月30日

(2月末現在)	
世帯数	7,665
男	17,242
女	18,608
計	35,850



### 3月定例市議会終る

#### 一般会計予算を補正

#### 土地購入に二千八百万

三月定例市議会がさる三月十一日開かれ、昭和四十四年度予算など二十議案を審議し、三月二十五日閉会しました。その結果、昭和四十四年度一般会計予算を一部組替修正で可決、住居表示に関する議案二件と文教地区建築条例の制定議案を継続審査にしたほか、市長から提案された昭和四十四年度一般会計補正予算など、残り十五議案は原案可決されました。

また、議会発議案二件がありましたが、一件は否決、一件は継続審査となりました。

◇ 原案可決された昭和四十三年度一般会計補正予算は、三千七百四十五万円で、予算総額は十億四千九百四十五万五千円になりました。歳出予算のうち、おもなものは次のとおりです。

- ▽総務費 職員退職手当七百五十万円を追加。
- ▽民生費 私立保育所に対する措置委託料百六十三万円を追加した。

また、議会発議案二件がありましたが、一件は否決、一件は継続審査となりました。

◇ 原案可決された昭和四十三年度一般会計補正予算は、三千七百四十五万円で、予算総額は十億四千九百四十五万五千円になりました。歳出予算のうち、おもなものは次のとおりです。

- ▽土木費 道路除雪費に四十二万円、都市計画事業費補助金三百万円など、総額三百七十七万二千円を追加。
- ▽教育費 東谷小学校統合校舎建設費不用額二百六十八万八千円の減額など、総額二百八十九万一千円を減額。
- ▽諸支出金 警察署庁舎建設用地購入費一千二百九十万円をはじめ改良住宅建設用地購入費五十一万円、保健所庁舎建設用地購入費一千九百六十万円、保育所建設用地購入費四十五万五千円など、公有財産(土地)購入費が二千八百四十八万円です。

当初予算は昭和四十四年度一般会計予算は組替修正で可決されました。これは、市遺族会に対する平和記念塔建設費補助金百万円を、当局の事業内容の把握が不十分であるなどの理由で、一応民生費から予備費に組替修正したものです。

#### 請願と陳情

今回の市議会で審議された請願陳情は二十九件で、その審議結果は次のとおりです。

採択されたもの

- ▼平地内暗渠改良方に関する請願
- ▼市道新設に関する請願
- ▼農道改良に関する請願(継続審査分)
- ▼農道改良に関する請願
- ▼産業振興助成金交付に関する請願
- ▼青年会議所助成金交付に関する請願
- ▼農道新設(継続工事)に関する請願
- ▼水路災害復旧に関する請願
- ▼栃尾市観光振興助成金交付に関する請願

不採択となつたもの

- ▼市で発注する建設工事の予算に関する請願(継続審査分)
- ▼医療保険制度の抜本的「改悪」に反対し、すべての農村労働者に日雇健保を適用し、給付内容を大幅改善要求に関する請願(継続審査分)

#### 三役、教育長の給与を引き上げ

三役および教育長の給与に関する関係条例が改正され、市長、助役、収入役および教育長の給与が引き上げられました。

なお、教育長の給与については本年一月にさかのぼって適用され市長など三役の給与は、四月一日から変更します。

改正後の給与は次のとおりです(カッコ内は改正前)

- 市長 十四万三千円(十一万五千円)
- 助役 十萬五千円(八萬五千円)
- 収入役 九萬三千円(七萬五千円)
- 教育長 十萬円(六萬八千円)

市議会議員の報酬も、関係条例が改正され、次のとおりになりました。(カッコ内は改正前)

- 議長 四萬円(三萬五千円)
- 副議長 三萬二千円(二萬八千円)
- 議員 三萬円(二萬六千円)

なお、三役、教育長の給与および議員の報酬は、いずれも栃尾市特別職の報酬等審議会(会長 稲田正三)に市長が前もって諮問し、その答申にもとづいて議案に提案し、それぞれ原案可決されたものです。

#### 市議会議員の報酬も上がる

#### 住居表示は継続審査

#### 三光区民から異議申し立て

市では、旧栃尾町川西地区の住居表示の実施について、さる三月二十五日の市議会本会議に提案しましたが、継続審査となり、総務文教委員会に付託されました。

これは、さる二月十五日づけで告示した住居表示案に対して、三光区民六十二名の署名による異議申立書が、三月十四日市長に提出されたため、市議会では公聴会なれば議決できないためです。

市議会では、四月中旬までに臨時市議会を開いて決定することに申し合わせを行いました。したがって総務文教委員会では、それまでに公聴会など所定の手続きを経て、審議する予定です。

なお、三光区民から提出された異議申し立ての内容は、①三光区は円満な町内で従来どおりでなんら支障はない。②他の町内と合併してもなんら益するところがない。③町名の変更は、町内の名称を現わすにふさわしくない。など三つの理由があげられています。

自主流通米反対 決議も継続審査

議会発議案二件が審議されました。その結果、国鉄運賃値上げ反対に関する決議案は採決の結果否決され、自主流通米制度に反対し

#### 公平委員に 田辺平質氏

市公平委員諸橋栄之助氏は、さる二月八日死亡され、欠員を生じたので、市長は、後任に田辺平質氏を選任したい旨、議会にはかつた結果、議会の同意を得て選任しました。

公平委員 田辺平質(栃壠)

明治三十二年十二月十日生

#### 教育委員会人事

【学校教育課】 課長 葛綿源吾(教委庶務課長) 副課長 植村英一(教委学校教育部課長) 主任 諸橋茂雄(福祉事務所福祉係長) 副主任 箕輪武典(教委庶務課) 主任 田 悟(教委庶務課) 副主任 貞子(教委庶務課) 主任 酒井慎二(市民課)

【社会教育課】 課長 渡辺英一(公民館副課長) 副課長 藤田英雄(福祉事務所主任) 主任 平沢博(教委社会教育課主任)

#### 教委 機構改革

市教育委員会では、四月一日づけで事務局の機構改革を行ないました。

これまで、庶務課、学校教育課、社会教育課と三つの課がありましたが、庶務課を廃して学校教育課と社会教育課の二課制にし、それ

#### 市職員人事異動

市職員の人事異動が、四月一日づけで次のとおり発令されました。

【総務課】 主任 諸橋真佐雄(建設課) 副主任 田口節夫(建設課) 主任 長谷川千里(総務課) 副主任 勝沼澄江(税務課) 主任 茨木亮(税務課) 副主任 佐藤幸雄(教委学校教育課) 主任 山田冷子(福祉事務所) 副主任 鈴木慶明(産業課) 副主任 河井裕(教

【建設課】 主任 委庶務課 副主任 井田清司(選管事務局) 主任 猪俣昭雄(総務課) 副主任 崎義英(総務課) 主任 木間康平(議事事務局) 副主任 斎藤トシ(保健衛生課) 主任 石原文雄(産業課) 副主任 石原文雄(産業課) 主任 斎藤礼次(福祉事務所) 副主任 猪島秀和(ガ水道課) 副主任 諏佐イサ(市民課) 主任 康男(税務課) 副主任 三本久馬(収入役室)

【市史編集室】 主任 葛綿 慎(総務課) 副主任 新採用 大橋日出昭(税務課) 主任 内藤敏春(関根利栄) 副主任 浅野雅広(産業課) 副主任 依願退職 三月三十一日づけ 斎藤万亀子(産業課) 主任 勳奨退職 三月三十一日づけ

【学校教育課】 課長 葛綿源吾(教委庶務課長) 副課長 植村英一(教委学校教育部課長) 主任 諸橋茂雄(福祉事務所福祉係長) 副主任 箕輪武典(教委庶務課) 主任 田 悟(教委庶務課) 副主任 貞子(教委庶務課) 主任 酒井慎二(市民課)

【社会教育課】 課長 渡辺英一(公民館副課長) 副課長 藤田英雄(福祉事務所主任) 主任 平沢博(教委社会教育課主任)



# 9億8千万のつかいみち

## 44年度一般会計予算

3月市議会で成立した、昭和44年度予算のあらましを説明します。本市の財政構造は、地方交付税が市税を上回るといふように、自己財源が乏しく国や県の財源に大きく依存しなければならない実態にあります。この乏しい財政の中で、消費的経常的経費をできるだけ節減し、今年度は市立保育所の建設をはじめ、改良住宅、勤労青少年ホーム、東谷小学校体育館の建設や、農免道路、林道開発および農業構造改善事業の推進など、地域開発、住民福祉の増進に重点がおかれています。このあらまは、次のとおりです。

### 住民福祉の向上に重点 保育所建設に二千万 勤労青少年ホームも建設

**議会費**  
議員報酬など、議会運営や議会活動に必要な経費です。

**総務費**  
人件費をはじめ、文書広報費、統計調査費、徴税費、選挙費など事務管理に必要な経費です。

**民生費**  
生活保護費五百八十六万円をはじめ、社会福祉費が二千五百万円、そのうち老人福祉費七百八十八万円です。

**児童福祉の面では、私立常設保育所(八カ所)に対する措置委託料四千八百八十八万円、市立白山保育所の運営費六百二十七万円のほか、二つめの市立保育所を建設しようといふことで、建設費二千三百一十万円が計上されています。**

**衛生費**  
伝染病予防のための予防衛生費が七百三十五万円、環境衛生の面では、じん芥処理費に百六十五万円、し尿処理費に一千三百三十万円など清掃費が二千五百六十六万円です。

**労働費**  
年少労働者の福利と教養、研修

### 改良住宅に八千九百万 東谷小屋体は二千二百万で

**土木費**  
金沢・平線ほか市道舗装工事費二千五百万円、入塩川区内線ほか市道改良工事費三百六十六万円で延長約二キロメートルの改良、舗装が見込まれているほか、備橋の通学用歩道橋建設費二百五十万円、ブルドーザー一台購入費五百二十万円などで、道路橋梁費が七千二百五十五万円。

一之渡戸七十歩公園建設費二百一十万円、秋葉公園整備費百九十九万円、公園費が三百四十七万円。

**緑が丘に改良住宅(鉄筋四階建五十二世帯収容)を建設するため八千九百万円が計上されています**

**消防費**  
人件費等常備消防費が一千八百五十三万円、団員報酬等非常備消防費が九百三十七万円。化学消防車購入費四百二十万円、可搬式ポンプ(五台)購入費二百五十万円など消防施設費が八百七十二万円。

**教育費**  
▽小学校費では、東谷小学校屋体建築費二千二百四十三万円をはじめ、整備および桑園造成工事費二千七百二十九万円、経営近代化施設事業補助金三百六十七万円など、三千四百三十六万円です。

また、林業費では、林道鬼倉線工事費二千六十六万円、入塩川口守門林道工事費負担金三百五十八万円など、二千七百七十万円です。

**商工業費**  
商工業振興のための補助金三百五十万円、産業育成資金貸付金三千万円など、商工振興費が三千六百六十七万円、保久礼避難小屋建設費二百万円を含み、観光費が四百五十万円です。

▽保健体育費は、下塩谷中ステーション建設費二百七十万円、教材用備品購入費三百九十九万円、半蔵金中プール建設費百五十万円などで合計二千六百八十六万円です。

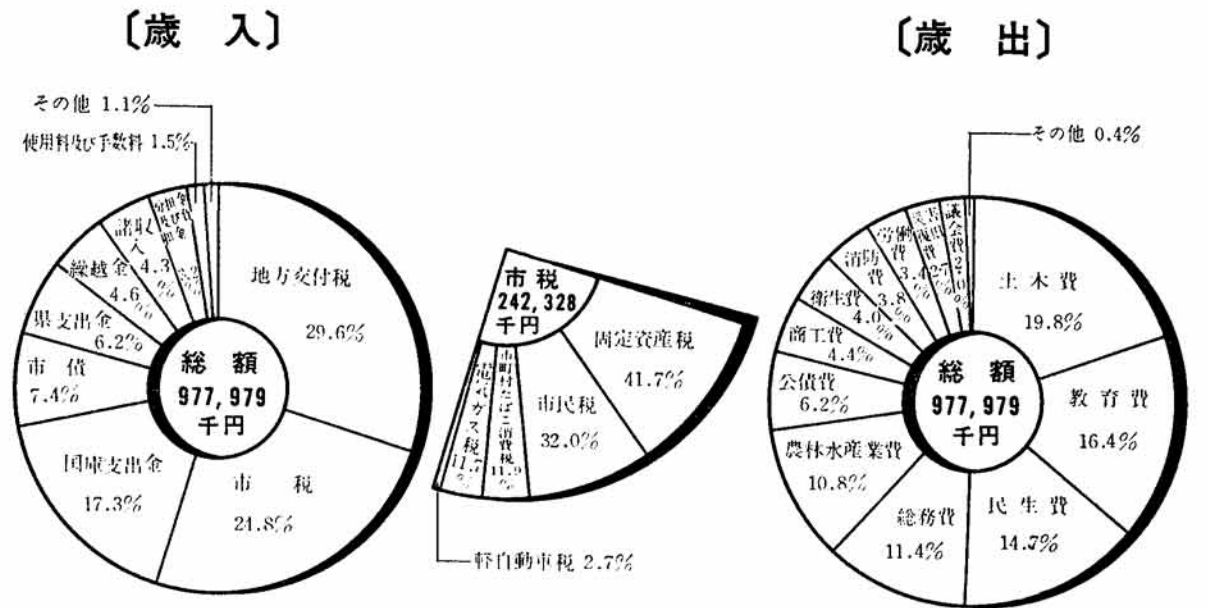
▽社会教育費では、社会教育総務費一千二百四十一万円、公民館費五百九十八万円などで、合計一千九百七十二万円です。

▽高等学費は、栃尾高校改築費寄附金六百二十万円を含め、七百五十七万円です。

▽教育総務費は、教員住宅建設費(一棟二戸建四棟分)八百九十八万円を含め二千八百八十一万円です

**災害復旧費**  
昭和四十二年、四十三年発生災害復旧費で、水路、農道等農地関係二千二百二十二万円、市道、市道橋など公共施設関係四百二十八万円

**公債費**  
市庁舎や学校、ごみ焼却場などの建設費として、政府から借りた元金の償還や利子などです。



### 一般会計歳入出予算

歳入 (単位千円)				歳出 (単位千円)			
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 市税	242,328	225,000	17,328	1. 議会費	19,435	17,626	1,809
2. 自動車取得税	6,000	0	6,000	2. 総務費	111,934	99,083	12,851
3. 地方交付税	290,000	225,000	65,000	3. 民生費	142,771	109,438	33,333
4. 交通安全対策金	600	0	600	4. 衛生費	38,932	35,428	3,504
5. 分担金及び負担金	31,096	15,130	15,966	5. 労働費	33,540	500	33,040
6. 使用料及び手数料	14,319	13,414	905	6. 農林水産業費	105,636	58,427	47,209
7. 国庫支出金	169,558	148,191	21,367	7. 商工業費	42,624	36,916	5,708
8. 県支出金	60,705	27,751	32,954	8. 土木費	193,741	110,029	83,712
9. 財産収入	3,031	2,249	782	9. 消防費	36,667	46,998	△ 10,331
10. 寄附金	736	566	170	10. 教育費	160,576	224,628	△ 64,052
11. 繰越金	45,382	38,157	7,225	11. 災害復旧費	26,650	30,680	△ 4,030
12. 諸収入	41,524	33,837	7,687	12. 公債費	60,815	52,504	8,311
13. 市債	72,700	96,400	△ 23,700	13. 諸支出金	2,658	2,458	200
× 繰入金	0	20	△ 20	14. 予備費	2,000	1,000	1,000
歳入合計	977,979	825,715	152,264	歳出合計	977,979	825,715	152,264

### 国民健康保険特別会計予算

歳入 (単位千円)				歳出 (単位千円)			
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 国民健康保険税	70,110	61,251	8,859	1. 総務費	11,007	10,920	87
2. 一部負担金	1	1	0	2. 保険給付	189,127	167,662	21,465
3. 使用料及び手数料	8	8	0	3. 施設費	2,735	2,919	△ 184
4. 国庫支出金	124,580	106,960	17,620	4. 積立金	1,069	752	317
5. 県支出金	1	1	0	5. 公債費	400	460	△ 60
6. 財産収入	953	644	314	6. 支費	31	31	0
7. 繰越収入	8,656	8,824	△ 168	7. 予備費	200	200	0
8. 諸収入	255	255	0				
× 繰入金	0	5,000	△ 5,000				
歳入合計	204,569	182,944	21,625	歳出合計	204,569	182,944	21,625

### 企業会計予算

水道事業 (単位千円)			ガス事業 (単位千円)		
項目	金額	差引	項目	金額	差引
水道事業収益	57,656		ガス事業収益	63,238	
資本的収入	4,610		資本的収入	0	
水道事業費用	48,838	8,818	ガス事業費用	56,709	6,529
資本的支出	16,691	△ 12,084	資本的支出	9,453	9,453



# 犬の取締りを強化 放し飼いは菜殺も

県条例改正

最近、犬を飼う家庭が増えてきました。これに伴って人をかんだり、家畜や農作物に被害を与えるなど、犬による被害がひん発しちよつとした公害問題にまで発展しています。

これまで新潟県では「飼犬取締条例」によって、指導、取締りを行なってきましたが、現行条例では飼犬と人の危害防止が中心で野犬を含む犬全体には適用されませんでした。そこでこの条例が改正され、飼主の心構えと順守事項を規定し、さらに野犬についても捕獲、抑留、処分、薬殺などを規定して犬による被害を防止しようとしています。

## 狂犬病の 予防注射を実施

栃尾保健所では、別表の日程により、狂犬病の予防注射と犬の登録を行ないます。  
生後三か月以上の犬を飼っているかたは、必ず受けてください。  
登録手数料 1頭 300円  
予防注射料 1頭 260円  
なお、戸別訪問の注射料は、1頭につき500円です。

### 狂犬病予防注射日程表

月	日	実施場所	実施時間
4月21日	(月)	東谷農協前	9.30~9.50
		栃堀農協前	10.15~10.30
		来伝来慶商店前	11.00~11.10
		入東谷農協前	11.20~11.30
4月22日	(火)	吹谷藤崎前	11.40~11.50
		小貫公民館前	13.10~13.20
		北荷頃区役場前	9.30~9.50
		比礼共同作業所	10.15~10.25
4月23日	(水)	榊井沢消防小屋	10.45~10.55
		一之貝区役場前	11.10~11.25
		西谷農協前	12.50~13.05
		新田農協前	13.30~13.40
4月24日	(木)	森上富田商店前	14.10~14.20
		半蔵金農協前	14.40~14.50
		下塩谷農協前	9.30~9.50
		人面農協前	10.10~10.20
4月25日	(金)	熊袋公民館前	10.40~10.50
		九川消防小屋	11.15~11.25
		上塩谷農協前	11.35~11.55
		入塩川農協前	13.10~13.20
4月26日	(土)	栃尾市役所	10.00~11.30

昭和四十三年度の栃尾市米・養蚕多収穫入賞者きまると、

米多収穫競争(技)会の入賞者がきまり、さる三月五日市役所で表賞式を行ないました。

個人部門の入賞者は、次のとおりです。

◎米多収穫競争会

特賞 下塩出 五十嵐久義(フジミノ 一七二六・二kg) 一等賞 下塩出 勝栄(同七〇九・九kg) 二等賞 半蔵金 諸橋正久(日本海六九五・〇) 下塩出 五十嵐善一郎(フジミノ 一六七九) 菅畑 五十嵐文雄(越み)

◎養蚕多収穫競争会

特賞 新山 諏佐金助(五七九四kg) 一等賞 半蔵金 多田昭次郎(四七四・四) 田之口 多田 哲(四五六・六) 二等賞 二ッ郷屋 飯浜与四郎(四四四・四) 新山 諏佐浩一(四三九・四) 下塩出 今井正行(四二九・四) 三等賞 半蔵金 諸橋一雄 菅畑 西川仁一、栗山沢 井田信四郎、土ヶ谷 山口隆恵智、上塩出 中村市太郎、下塩出 関根 宏、赤谷 椎谷長英、菅畑 五十嵐宏、半蔵金 諸樹久太郎、努力賞 新山 諏佐長太郎、栃堀 星野友之進。

れた人は保健所長に届け出ることを。かんた犬は必ず獣医師の検診をうけること。

のり六七四・四) 三等賞 下塩出 田代秋男、半蔵金 山内 正、同 保科聖義、下塩出 関根一栄 平 酒井作衛、明戸 酒井栄一、菅畑 会田日出夫。



↑ 中村光輝君来市  
テレビドラマ「天と地と」に景虎役として名演技をみせ、一躍人気者になった中村光輝君が、さる3月30日栃尾市を訪れました。午後3時市役所に到着、山井市長から歓迎のあいさつを受け、その後オープンカーで商工会前までパレード。秋葉山で栃尾小学校の児童と交歓会のあと、常安寺では謙信の遺品を見学。あいにくの悪天候のため予定されていた城山登山を中止し、栃尾で1泊し、翌朝高田市に向かいました。



←「天と地と」写真展  
昨年12月につづき、第2回目の「天と地と」写真展が、さる3月30日から4月3日まで、栃尾商工会で行なわれました。今回は、写真のほか陣屋セットや小型テレビカメラなどを展示。また地元からは上杉家ゆかりの太刀や栃尾城の瓦なども展示され、連日にごわっていました。

## カメラ クラブ



↑ 第28回守門スキー大会  
28回目を迎えた守門滑降距離スキー新潟県選手権大会が、さる3月21日の春分の日に行なわれました。ことしから、大岳頂上から出発の予定であった距離競技は、悪天候のため万太郎に変更されました。

- 各部の個人優勝者は次のとおりです。
- 滑降距離の部**
- 成年組 杵淵順平(小千谷スキークラブ)  
第一壮年 今井恒美(長岡スキー協会)  
第二壮年 佐藤亀吉(守門チーム)
- 滑降の部**
- 成年組 田村茂夫(湯沢スキー協会)  
第一壮年 長谷川壮(長岡スキー協会)  
第二壮年 高橋房市(苗場スキークラブ)  
中学男子 大野 隆(長岡栖吉中)

## 林泉寺に学んだ 門 察 和 尚

大連門察は転輪寺六世芳山周蔗の弟子で、瑞麟寺五世です。転輪寺は東頸城郡吉川町天林寺にありまして、常安寺の本寺です。常安寺の前身である瑞麟寺とは特別に深い関係がありまして、瑞麟寺の歴代住職は総て転輪寺から来ております。前にも書きましたように瑞麟寺は天文十八年に焼失しましたが、当時住職だった門察和尚が常安寺を建てました。景虎公は天文十八年二月に瑞麟寺へ、また天文二十年には常安寺へ安堵状(寄進状)を送っています。お寺はちがっていても受け取った住職は共に門察和尚であるわけです。

三月号に「瑞麟寺の住職門察和尚は春日山林泉寺の役僧としていたこともある人です」と書きました。しかし疑問の点がありましたので、去る三月三十一日に転輪寺にいつて調べてきました。転輪寺は上杉、長尾阿氏とは特別の関係があります。私は門察和尚が林泉寺の役僧であったかどうかを尋ねましたところ、住職の上杉光潤師は、門察和尚は林泉

## 「天と地と」あれ、これ

寺の役僧だったことではない。しかし、当時林泉寺の衆寮にいられたものと考えられる、と話されました。衆寮とは寺にある宿泊所です。僧侶たちは方々のお寺にゆき立派な師について自由に勉強することができました。こうしたお寺に来る僧侶たちのためにお寺では宿泊所を作っておきました。この施設を衆寮というのです。

門察は天室光育和尚について勉強するため衆寮におりました。一方景虎公も光育和尚について勉強しましたから、お互いに光育和尚の相弟子ですから顔見知りだったものと推察されます。

また転輪寺には「門察和尚が景虎公を背負って栃尾へ行った」という伝承があります。

春日山から栃尾までは三十里(一〇〇km)近くありますから、途中二泊するとすれば一日の行程は十里位でしょう。それにしても背負って来たというからには、やはり幼少の時だったことが想像されます。

景虎公は五才にして林泉寺にあられ、光育和尚から四書、五経を習い、学問の基礎を勉強されました。

## 栃尾市教育委員長 那 須 正 丘

市人口は、昭和三十三年から昨年までの十年間に二、五五二人減少しました。また、四十年から四十三年までの三か年間で、一、〇八人も減少しています。この内容を見ると、出生と死亡の関係では出生数が上回っているのに対し、転入と転出の関係では転出者がはるかに上回っており、転出者の増が人口減少の原因です。

これを地域別にみまると別表のようになり、栃尾地区で増加しているほか、その他の地区では減少しています。人口の減少は、当市だけでなく県内の多くの市町村に見られる現象です。

## 統計コーナー

減少する 市の人口

地区名	43年末人口		44年以降人口		増減	
	人口	増減	人口	増減	自然動態	社会動態
計	35,886	△1,108			出生 2,212	転入 3,377
栃尾地区	15,986	△622			死亡 1,278	転出 5,419
下塩谷	4,441	△163			差引 934	差引 △2,042
上塩谷	2,839	△298				
東谷	4,337	△138				
東谷	1,594	△318				
荷頃	3,188	△238				
西谷	1,113	△125				
中野	1,623	△156				
半蔵	958	△245				



# 暮らしのメモ



これは、農林水産物や日常の加工食品につけられている品質表示マークです。

## 買物の目じるし②

### ジャス(JAS)マーク

安心して食べることでできる食品の品質保証になるわけですが、



このマークのついている商品は、

このマークのついたものは、消費者保護のために、特に次の点が明示されています。

- ① 原料と使った調味量の種類。
- ② 調理の方法、食べかた。
- ③ 二種類以上の原料を使った場合は配合割合。
- ④ 製造会社・製造工場・販売会社名と製造年月日

なお、ジャスマークのついていない食品は、

は次のとおりです。カン詰、ハムソーセージ、ジュース、ぶどう

## 苗しろの準備



近年、苗しろづくりが案外粗雑になってきましたが、健康な苗を育てることが、増収のためにたいへん重要なことです。

まだ水苗しろをつくる人も多いようですが、健康な苗を育てるには簡易折衷か、保温折衷苗しろに切り替える必要があります。

苗床面積は一〇アール(一反) 当り三〇平方メートル前後(八〜一〇坪)準備し、播種量は三・三平方メートル(一坪)当り〇・一八〜〇・二七リットル(一〜一・一五合)程度の薄まきにして、苗しろ面積を十分にとることがたいせつです。

また、種もみを塩水選したあと完全に消毒してください。

「八千穂」「越ひびき」「コシヒカリ」「越みのり」は低温では発芽しにくい品種ですから、他の品種とは別に芽出しを良くやり、平均に発芽するようにしてください。

播種日は、田植の日を決めて、その日から三十五〜四十日前にできるよりに準備してください。

## こどもの事故

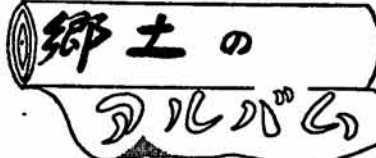
四月になると急に子供の戸外で遊ぶ機会が多くなるせいか戸外での事故が目立ってきました。

交通事故、池や川に落ちたり、これらの事故は登校時よりも下校時に多いそうです。

登下校は回り道でも安全な道路を通るように、横断歩道の渡り方など、家庭も学校も特に新入学的子供さんには十分注意してやりましょう。

## 戊辰戦争と栃尾

この頃から戦線は次第に平野部に移って行きました。河井総督は五月二十七日、秘かに栃尾方面に居た八小隊に対して、警備の兵だけを残して至急加茂の本営に引きあげるように命じました。そして翌二十八日諸隊長を集めて、「長岡城を回復するために、先ず今町の敵を攻略しなければならぬ。ここは敵の主力であり攻めはむずかしい。だから一隊をもって敵を本道口に誘導して、その隙を突かなければならぬ。敵は目下守りの体勢に入っているから、いま、機先を制しなければ、長岡城回復の望みはないだろう。この戦いに勝てば自然、見附、栃尾の敵も引きあげざるを得ないことであり、例えば、急に長岡城を回復できなくても、栃尾は長岡領だからここに本営を置いて冬を待てば、南国育ちの敵を破り、長岡城を回復することは容易である。これは私の最後の策である。」と悲壮な決意を語りました。



諸隊長も河井総督の意見に賛成し、五月三十日加茂の本営を出発し、六月二日命運をかけた今町口の戦いは、激戦の末、これを破ることはできませんでした。これを破ることはできなかった官軍は赤坂、杉沢を退いて浦瀬に陣を張り、栃窪、土ヶ谷を守り、一隊は森立峠に陣を置いて田之口、荷頃地方に出、一隊は半蔵金に退いて中野侯から東谷方面をうかがう態勢を取って平地の官軍と連絡を取っていました。これに対し、長岡軍は栃尾に陣を定めて荷頃、田之口、栃窪、中野侯、吹谷、東谷地方に塁を築いて備えました。

私の推定では一小隊三十人から三十五人とみて五小隊百五、六十人の長岡軍が栃尾に居たものと思います。大隊長牧野頼母、軍事係川島(三島)徳次郎をはじめ、花輪、大瀬、渡辺、萩野、稲葉の各隊長と協力の末、軍略上の重要地点、森立峠奪取の機を狙っていました。六月八日いよいよ森立峠進撃を開始しました。午前二時栃尾町を出発、一之貝から森立峠の東南へ軽井沢から前面へ、また一隊は比礼口から攻め寄せました。(文化財審議委員五十嵐貞司記)

## 公民館の事業費ふえる

### 四十四年度予算五九八万円

三月定例会市議会で本年度の公民館予算が決まりましたので、おもなものをお知らせします。

総額は五百九十八万五千円で、昨年の当初予算より百四十四万円多くなりました。事業費が全体的にふえたものですが、中でも青

## 青少年新就職者を励ます

新規就職者を励ます勤労青少年のつどいを三月二十六日栃尾織物工業協同組合で行ないました。これは、ことし市内繊維工業関係職場に就職した中学卒業者を対象にして、講義とアンケートを行なったもので、出席者は二百三十六人でした。

講師には、山田沖哉氏(塚山中学校校長)、小林勝氏(県青少年対策室)、高橋哲也氏(中越教育事務所)を招いて「働く若人のあり方と考え方」「職業人としての心構え」について講演があり、また青少年意識調査も行ないました。

## 青年学級など開講

次の要領で中央青年学級と愛農学級を開講いたします。受講を希望されるかは公民館に申し込みください。

青年学級	
学習期間	4月13日開講、昭和45年3月まで。
対象者	原則として25歳以下の勤労青年の男子および女子。
学習時間	午後7時30分から午後9時30分まで。
開設場所	栃尾市公民館
学習内容	一般教養、家事、職業(月曜日) 商業コース、洋裁コース(木曜日) ペン字コース、書道コース(金曜日)

コース学習は、学習しようとする者の選択です。コース学習のみも認めます。

愛農学級	
4月16日開講	原則として25歳以下の男女で農業に従事している者および従事しようとするものです。
学習内容	農業の基礎と一般教養、農家経営などを行ないます。

## 887人がおとなの仲間入り

栃尾市第二十一回成人式が、さる四月三日栃尾小学校で行なわれました。

ことしの市内の新成人者は、男四百三十八人、女四百七十四人合せて八百八十七人でしたが、式典に出席したのは六百一人でした。

新成人者を代表して杉山晶子さんが「郷土の発展のため責任と努力をもって行くつもりです」と謝辞を述べて式典を終りました。そのあと記念行事に移り、仲野



寛康君、大港雪子さんの感想文発表、第九回オリンピック三段跳に優勝した織田幹雄先生の記念講演で一切を終りました。【写真は、第二十一回成人式】

## 新成人講座を閉講

成人としての知識を身につけてもらうため、昨年九月から開講していた新成人教育講座を、さる三月九日、十回の全日程を終り閉講しました。

講座は一般常識から自治にいたるまでの全般的なもので、最終回は「成人に期待する」という新潟大学教授斎藤和代先生の講演で閉じました。受講者のうち、精動された十人を表彰しました。

- 被表彰者は次のとおりです。
- 佐野久美子(新町) 三富ヨシ(仲子) 石田久美(東町) 鈴木道代(土々町) 諏佐テイ子(金沢) 長谷川清子(金沢) 石田春子(本津川) 数間博子(山口) 矢沢久子(鶴ヶ島) 石井賢司(清水町)

## 青年学級も

中央青年学級もこのほど閉講し全課程を終了した者に終了証書を授与しました。終了者は次のとおりです。平林三枝子(原) 斎藤トミ子(東町) 杉野キッ子(栗山沢) 加藤厚子(天下島) 三沢正一(山田) 斎藤洋子(金沢) 河内和子(山田) 穴沢ちい(西中野侯)